

町会だより 和和三丁目東町会

2015
正月号 I



平成27年の新年ご挨拶

明けましておめでとございます。
和和三丁目東町会の皆様が、穏やかな
良い新年を迎えられましたことをお慶び
申し上げます。

年末の選挙は保守の圧勝となり、国民
は現政権のアベノミックスによる景気振
興政策を信任したわけですが、消費税増
や円安に起因する生活必需品の相次ぐ値
上げで、暮らしは悪くなっているのが実
感です。一部の金融証券や輸出関連の大
企業では給与や賞与も上がったようです
が、国民の大半を占める生活弱者の暮ら
しが楽になり、再増税に耐えて財政の健
全化が実現するのは当分先の話と思われ
ます。

また今年のは先の大戦から七十年の節目
でもありますが、排他的経済水域内で重
大な脅威が発生しています。憲法改正や
集団的自衛権の必要性は否定しませんが、
少数派になりつつある戦争体験世代
の懸念も尊重してもらって、アクセルと
ブレーキを踏み間違えないように願いた
いものです。

政治的課題もさることながら、御嶽山

噴火や全国的な土砂災害の多発に象徴さ
れる、自然災害の脅威が明らかに高まっ
ています。昨年暮れの長野県北部地震の
際に放映された、全壊家屋からの救出劇
の映像に恐怖と同時に感動も覚えまし
た。不幸にも突発的に発生した自然災害
に対して、地域住民の共助の体制が如何
に大切かを見せつけられました。

大都会東京の一角の和和三丁目区域で
は、白馬村のような歴史的な古い地縁に
由来する情報共有や共助体制は望むべく
もありませんが、今後30年間に70%の確
率で発生が予告されている首都直下型震
災に対して、人命の喪失を最小限に止め
るために、可能な限りの「減災対策」を
講じることは町会の使命であります。

当町会では既に5年間継続している
「見守り隊」活動と、3年目に入る「減
災プロジェクトチーム」と「消火隊」活
動による近隣共助体制を維持しながら発
災時に備えて参ります。昨秋には和田地
区の5町会と隣接する方南2丁目町会が
連携して、高性能無線機による減災情報
発信ネットワーク作りに着手しました。
発災時にリアルタイムで域内の火災の状

況や安全な避難路の確認等に役立つこと
を目指しています。

毎度申し上げていることですが、「見守
り隊」・「減災プロジェクト」あるいは「パ
トロール隊」による安全で安心な街づく
りは、一握りの我々町会役員の力だけで
は何も実現出来ません。「向こう三軒両
隣」が笑顔で言葉を交わし、お互いを思
いやる「良き地縁」で結ばれた町会員皆
様方の積極的な参加と協力があって初め
て、万人に誇れる「わが町和和三丁目」
を目指す推進力が保持できます。引き続
き町会活動に格別のご支援を賜りますよ
う切にお願い申し上げます。

末筆になりましたが、平成27年の皆様
のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

和和三丁目東町会 会長 志達 和雄



26年の町会活動
いろいろ
頑張りました

